

[REAL TIMESは外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]
外国人地震情報センター TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

■おもな項目 (95.4.18.~4.27.)

1. 第10回 地元NGO/外国人救援ネット -4.17. 中山手教会にて

(全2ページ)

■外国人死亡者数がほぼ確定■

兵庫県は外国人登録等に基づいて、震災で死亡した県内の外国人死亡者数を4月14日までにまとめた。9カ国、179人。内訳は、韓国・朝鮮117人、中国・台湾44人、ブラジル8人、ビルマ3人、アメリカ2人、フィリピン2人、他、アルジェリア、オーストラリア、ペルーが各1人。兵庫県は2月の段階で、外国人死亡者を250人前後として発表したが、当初は氏名などから外国人ではないかと思われる死亡者をすべて計算したため、日本国籍を持つ死亡者がかなり含まれていた。

兵庫県警が2月21日に発表した外国人死亡者数は166人。

また、民団・総連は韓国・朝鮮人死亡者を144人と発表している。

そのほか、当初数えられていた人のうち、日本人の配偶者のあいだの子と、外国人の配偶者で外国籍をもつ日本人女性が今回の兵庫県発表では除かれた。

これらは外国人登録や氏名から判明した外国人死亡者を計算したもので、未だ確定的なものではないと県も話している。韓国基督教会等では、信者の中に震災後連絡が取れなくなった者が複数おり、韓国本国とも連絡を取り合って情報の収集に当たっている。

1. 第10回 地元NGO救援連絡会議/外国人救援ネット

4月26日、中山手カトリック教会で地元NGO救援連絡会議/外国人救援ネットの第10回会議が行われた。

<主な議題>

1. 医療費・弔慰金問題 2. FMユーマンについて

★医療費・弔慰金問題

災害救助法に基づく医療費の支給と、在留資格を問わない弔慰金の支給を求めて、5月10日、14:30から国土庁にて小里貞利地震担当大臣と交渉をすることとなった。

地震対策を担う同大臣は各省庁のスタッフを抱えており、当日は厚生省の担当者も同席する。また、国際人権の立場から、外務省の担当者も同席するよう調整している。(4月28日現在)

3月20日の厚生省交渉では記者発表まで用意したが、地下鉄サリン事件で陰に隠れてしまい、集まった記者は2名、という惨憺たるものだった。今回も記者発表を予定している。

★FMユーメンについて

4月16日に開局し（前号まで「イウメン」としていましたが混合から訂正します。）ベトナム語の他、スペイン語、フィリピン語でも放送している。

兵庫県のFMフェニックスが3月末で閉局した今、不足する被災者への情報提供を担う媒体の整備が急がれる。FMユーメンでは震災1年後を目標に地域FMとしての認可を受けるとしてきたが、この状況を鑑み、神戸市へ郵政省認可の臨時災害FM局の設置を呼びかけることとなった。現在呼びかけ人を募っている。

連絡は鷹取教会・神田神父（030-846-6359）、日比野さん（030-848-3347）まで。

FMユーメンは、周波数76.2Mhz。周囲約5キロで聴取できる。

朝8時から翌1時まで放送。

★その他

KDD神戸支店から営業担当者2名が参加。

また中小企業を中心に、震災関連新聞を発行したいという構想があり、1ページを外国人関連で使いたいという申し出があったことが、外国人地震情報センターから報告された。

こういった企業セクターや、県・市との会談に見られる第一セクターとのつながりが、今後の私たち市民団体の活動に新たな可能性をうみだすのではと期待している。

次回は5月2日（火）午後4時半～ 中山手カトリック教会にて

■外国人被災者支援連絡協議会■

5月10日午後6時半からKCC会館（大阪市生野区）にて第4回幹事会が行われます。各団体からの報告のほか、韓国人法律救援センター裴弁護士による「借地・借家法」のケーススタディーもあります。

問い合わせはKCC会館（06-731-6801）まで。

■神戸ワンパクまつり 5月14日（日）■

神戸総合運動公園で。子供を対象にしたさまざまなイベントが行われる。外国人向けの屋台も出店。通訳付きの無料健康相談やKDDによる国際電話無料サービス、外国人地震情報センターの相談窓口も開設します。

外国人向けイベントのお問い合わせは外国人地震情報センターまで。

■阪神大震災 チャリティ・フリーマーケット 5月20日・21日■

東京・サンシャイン文化会館Bホールで、午前10時から午後5時まで。

外国人向けの生活情報誌を発行する編集者でつくる「在日外国人情報誌連合会」主催。収益金を地元被災者支援のための義捐金とする。

問い合わせは連合会事務局（03-3226-8701）。

■阪神大震災 被災留学生・就学生報告会 5月26日（金）■

神戸学生青年センター（078-851-2760）で。同センターの飛田館長やとよなか国際交流協会の栗野氏などが、震災で被災した留学生・就学生の状況について報告する。